

# 農家のみなさんへ緊急のお知らせ

## 「あなたの畑、大丈夫？」

～福島原発事故で環境中に放出された放射性物質は広島型原爆の170発分に当たる～

### (1) 米ぬかが放射能汚染されている現状

日本各地の測定所の検査でかなりの数の汚染米ぬかを確認。現在、行政や農業団体は有効な対策をまだ打ち出せていない。きちんとした検査体制のないまま米ぬかは流通し続けている。

### (2) いまさらだけど、放射性物質って何？

#### ① 見えない、匂いもない、味もしない、測定も大変。

今、測っているのはヨウ素とセシウムくらい。福島原発事故では他の膨大な数の放射性物質が放出されたと考えられているが、技術、コスト、時間の問題で現実には測っていない。

だからセシウムが見つかったら、実際の放射性物質の合計値は控えめに見積もってもその50倍はあると思ったほうがよい。

#### ② 半永久的。

時間が経っても消えない（種類により数分から数万年で半減するだけ）。微生物でも分解しない。土壌に入れればどんどん濃くなっていく。

#### ③ 重大な健康被害をもたらす（内部被曝・外部被曝）。

放射線は細胞を貫き遺伝子を破壊する。後世代にも多大な影響。

ガン、白血病、肉腫、心臓、脳、他全身のあらゆる臓器の疾患、免疫力低下。

チェルノブイリ事故は、四半世紀たった今でも多くの被害者を生み出し続けている。

#### ④ 少量でも危険。

1ベクレルとは1秒間に1回の放射線を放出するという単位。体内に取り込まれればたとえ1ベクレルでも年間1150万回の放射線を細胞に放射し続けることになる。チェルノブイリ原発事故の健康調査を当時のソ連政府から依頼され、死体解剖で実際に臓器にたまった放射性物質を調べたバンダジェフスキー博士の研究によると、体内汚染たった5ベクレル/kgでも心臓に異常が出てくるとのこと。

### (3) 今の基準値は安全？

100ベクレル/kg＝防護服を着た作業員がドラム缶に入れて嚴重に管理廃棄する放射性物質（低レベル放射性廃棄物）

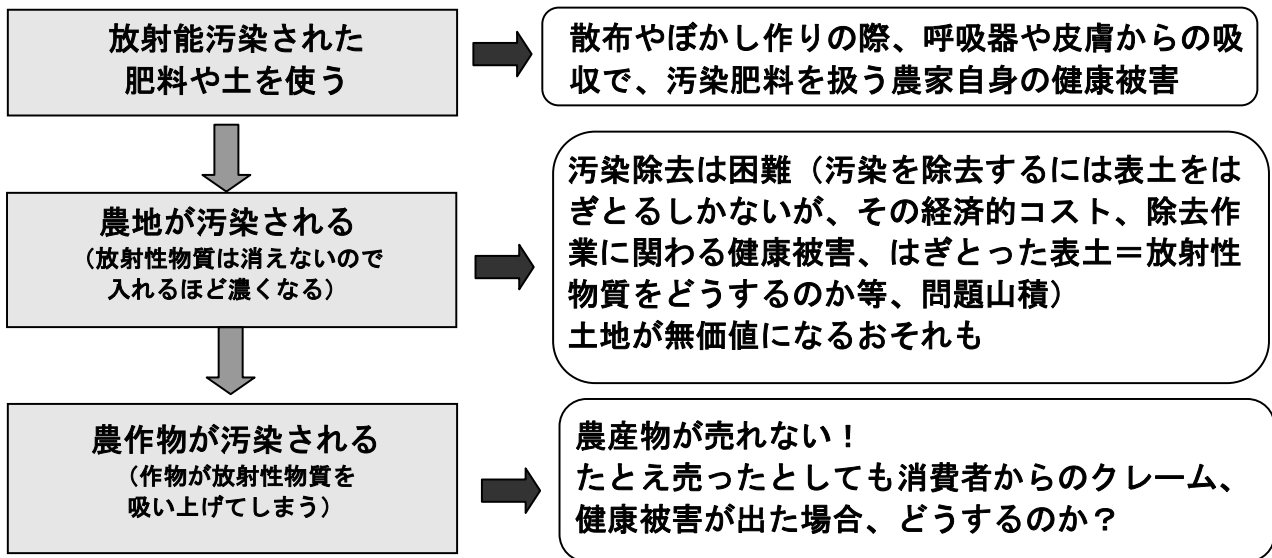


ところが福島原発事故以降に設定された基準値・許容値では、なんと！  
食品は100ベクレル/kg(ぎりぎり99ベクレル/kgでも食品として流通)  
肥料は400ベクレル/kg(低レベル放射性廃棄物4倍濃度までの肥料を農地に散布)

飼料は最大160ベクレル/kg(低レベル放射性廃棄物以上濃度までの飼料を家畜に与える)

これで安全と言えるのか???

#### (4) 汚染された肥料・土を使うとどうなるの？



まだそれほど放射能に汚染されてはいない土地に、わざわざ運ばれて来る汚染された肥料や土。それを自分の手で、自分の農地へ投入する？あなたの健康が害され、あなたの農地が汚染されていく…。

#### (5) じゃあ、どうすればいいの？

とりあえず米ぬかは使わない。魚粉、腐葉土、園芸土等も同様に汚染が検出されているので使えない。もしどうしても使うなら、検査して放射性物質がないことを確認したものだけ。

代替肥料にチャレンジしよう！

⇒小麦のフスマ（外国産）、緑肥等で既にいい結果が出ている。

みんなでいろいろトライしていきましょう！

放射能汚染問題は長期戦。  
自分たちを放射能汚染にさらすことが、被災者を助けることだと勘違いしてはいけない。  
放射能は拡散させない。人は受け入れる。  
安全な農産物をつくり続けることは自分たちだけでなく、  
安全な作物をつくれないうちを支援していくことにもなる。  
そのためには汚染されていない環境をずっと守り続けていかないと。  
みんなでこの大地を守っていきましょう！